

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)	授業形式								
E112F009		地理学概論(地誌を含む。)(Introduction to Geography)														
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員										
必修	2	2	教育学部 令和2年度 以降入学生用			氏名 小山拓志・土居晴洋 E-mail ktakushi@oita-u.ac.jp(小山), hdoi@oita-u.ac.jp(土居) 内線 7548(小山),										
授業の概要	学校教育における地理的分野の授業を行うために最低限必要な地理学の基本的概念や技能を、具体的な作業を通して理解し、習得する。また、それらを基礎として地域を地誌学において捉える方法論について理解を進める。															
具体的な到達目標						DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
目標1 地域や社会に生起する諸現象を様々な空間と時間のスケールで思考することができる。																
目標2 地域における社会, 自然環境の形成メカニズムを考察できる。																
目標3 異なる地域の特徴を比較考察できる。																
目標4 地図(一般図, 主題図)を利用することができる。																
目標5 景観写真や地図, グラフなどの資料から地理的情報を適切に読み取ることができる。																
目標6																
目標7																
目標8																
目標9																
目標10																
授業の内容																
1 地理学とは何か(担当:土居晴洋)																
2 地理的事象の地域性とスケール(担当:土居晴洋)																
3 地誌学と地域概念(担当:土居晴洋)																
4 流通の地理学的考察(担当:土居晴洋)																
5 製造業の地理学的考察(担当:土居晴洋)																
6 都市空間の地理学的考察(担当:土居晴洋)																
7 人口の地理学的考察(担当:土居晴洋)																
8 新型コロナの地理学的考察(担当:土居晴洋)																
9 地図の概念とその利用(1):地図の種類(担当:小山拓志)																
10 地図の概念とその利用(2):地形図の読図(担当:小山拓志)																
11 自然環境の諸要素(1):地形(担当:小山拓志)																
12 自然環境の諸要素(2):気候(担当:小山拓志)																
13 自然環境の諸要素(3):植生と土壌(担当:小山拓志)																
14 災害と地理学(担当:小山拓志)																
15 南極と地理学(担当:小山拓志)																
ラーニング	A:知識の定着・確認	地図・グラフ等の作成, グループによる資料読解等を行う。				工夫	LMS(Moodle)の活用									
	B:意見の表現・交換					その										
	C:応用志向					他										
	D:知識の活用・創造					の										
時間外学習の内容と時間の目安	準備学修	資料の読解, 疑問点の整理(8h)														
	事後学修	課題の実施(15h)														
教科書	使用しない。															
参考書	『中学校学習指導要領解説 社会編』(文部科学省、2008年)、『大学教育の分野別質保証のための教育課程編成上の参照基準 地理学分野』(日本学術会議、2014年)															
成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10				
	質疑応答など授業への参加状況	30%														
	課題の提出	30%														
	期末試験	40%														
注意事項																
備考																
リンク																
	URL															